



(裏面もご覧になって正しくご使用ください)

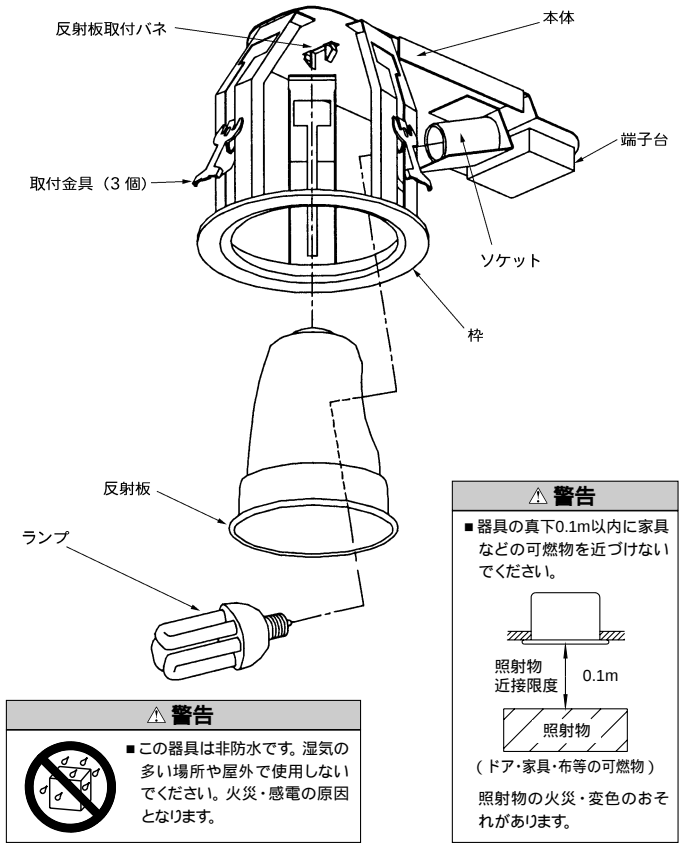
DDL-001LWJIA DDL-001NWJIA		屋 内 SGI形 天井埋込専用器具	113-10-1-001LWB
------------------------------	--	-------------------------	-----------------

仕 様

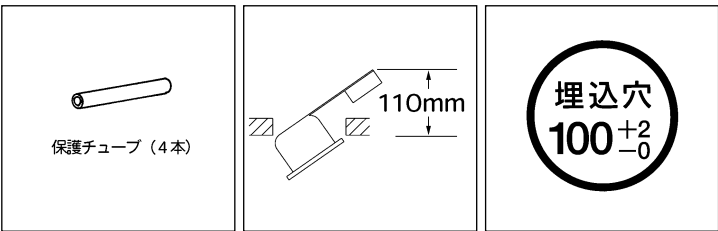
- 屋内天井埋込専用器具です。
- 断熱遮音施工用SGI形器具です。
- サーマルプロテクタ付です。
- 取付金具(3個)取付専用器具です。
- 反射板の取付方法はパネ式です。

品 番	DDL-001LWJIA	DDL-001NWJIA
配 光	1/2照度角60 °	
電 源 電 圧	100V	
消 費 電 力	15W	
入 力 電 流	0.22A	
適合ランプ	電球色電球形蛍光灯 EFD15EL/13W×1灯 E17	昼白色電球形蛍光灯 EFD15EN/13W×1灯 E17
器 具 重 量	約0.5Kg	
電 源 接 続	端子台（送り可）（最大6A）	

各部の名称



付属部品 埋込必要高 取付寸法



取付方法

1. 施工前の注意事項

- ロックウール等の柔らかい天井に設置の際は、取付金具と天井の間に補強材を入れてください。(取付金具が天井にくい込み、枠と天井の間に隙間ができることがあります。)
- 表面に1mm以上の凹凸がある天井はザクリをし、平にしてください。凹凸のある天井にそのまま取付けると光モレ、気密性の低下の原因となります。

2. 天井面に埋込穴をあける

- 有効天井厚さ6～25mmです。
- 天井面の取付箇所必ず指示寸法の埋込み穴を開けてください。

取付注意

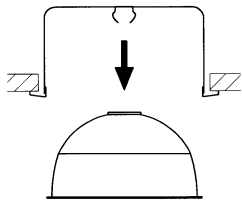
φ100～φ102

取付穴サイズ厳守

トリム幅を小さく設定している為、天井への取付穴は、φ100～φ102できれいにあけてください。

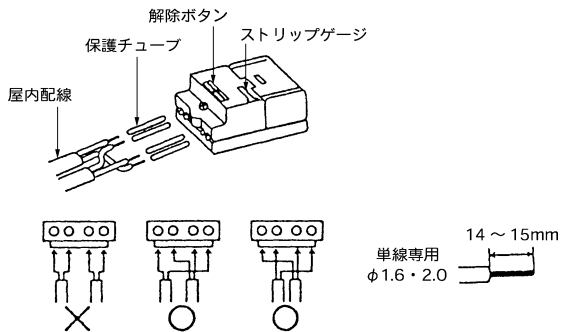
3. 本体から反射板を取はずす

- 反射板を下方に引き下げてください。反射板は本体から外れます。



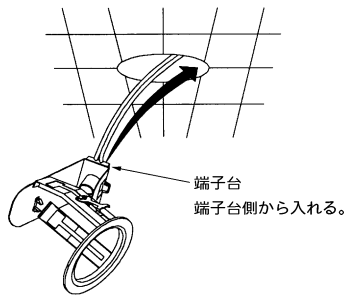
4. 端子台に屋内配線を接続する

- 適合電線を使用しストリップゲージにあわせ、正確に段むきしてください。
- 必ず、付属の保護チューブ(L=250mm)で保護し、端子台に奥まで確実に差し込んでください。

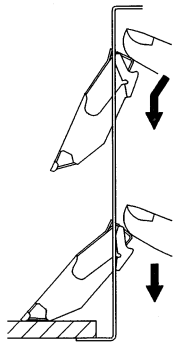


5. 本体を埋込穴に取付ける

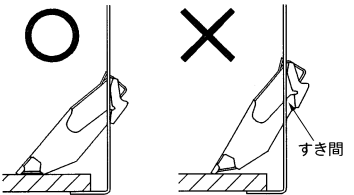
- 天井面の埋込穴に本体を押し込み、取付金具(3個)で確実に取付けてください。



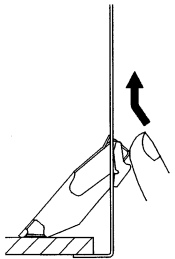
- 取付金具の背を軽く押しながら引き下ろしてください。



- 取付金具と本体の間にすき間のある場合は確実に取付いていません。再度、金具を引き下ろしてください。

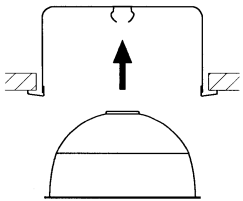


- 取付金具を外す場合は金具の背を押しながら上へスライドさせてください。



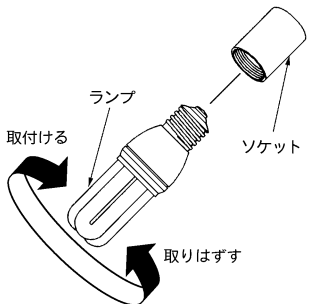
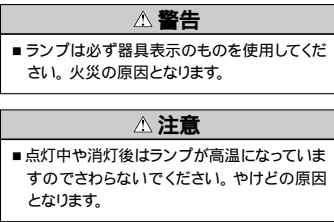
6. 反射板を本体に取付ける

- 反射板を本体に押し込み、反射板取付パネに確実に取付けてください。
- 一度引っ張って反射板が反射板取付パネに取付いているか再度確認してください。



7. ランプを取り付ける

- ランプをソケットに合わせて、最後まで確実にねじ込んでください。



8 使用前の確認

- 取付状態、点灯状態を確認してださい。

使用上のご注意

- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因になります。
- インバータ器具の近くで、ラジオ AM を使用しないでください。雑音の原因になります。
- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不十分ですと、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因になります。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因になります。
- 点灯時、消灯後には、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。

点検とお手入れ方法

6カ月に1回程度、清掃および点検を行うことをおすすめします。点検は、次の項目にもとづいて行ってください。

1. 点検事項

- 正常に点灯しますか。
 - スイッチは、正常に切替りますか。
 - 天井との取付け部、各製品の合わせ目に異常なガタつき、ゆるみはありませんか。
 - 可動部は異常なく動作しますか。
 - 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
 - ガラス、プラスチック部品等に、ヒビ、割れ、変形等が発生していませんか。
- 不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社もよりの支店にご相談ください。

2. 清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりでなく、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	30 ～ 40 の薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガ ラ ス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

(裏面もご覧になって正しくご使用ください。)